

広島県内消費者物価指数の平成17年基準改定について

平成18年9月

1 趣旨

消費構造の変化に対応するため、5年に一度基準年を改定

- 平成18年8月公表分から平成17年基準へ切替え（新基準による作成は平成17年1月分から）
- 消費者物価指数の計算に採用する品目を見直すとともに、ウエイト（品目別消費支出の割合）の改定
- ※ 消費者物価指数とは、消費者が購入する商品（財及びサービス）の価格変動を示す指数をいう。

2 改定の主な内容

(1) 基準年次の改定

基準年を平成12年から平成17年へ改定し、平成17年指数＝100とする。

(2) 消費構造の変化に伴う品目の追加及び整理統合

○追加品目： 薄型テレビやDVDレコーダーなどの情報関連品目を中心に
34品目

○整理統合品目： 鉛筆やビデオテープレコーダーなど消費支出金額が低下
した48品目

（全調査品目数は598品目から584品目へ）

(3) ウエイト（品目別消費支出の割合）の改定

家計調査により得られた平成17年平均1ヶ月1世帯当たりの品目別消費支出金額により作成

○増加した品目等： 移動電話通信料， 保育所保育料， 診療代 など

○減少した品目等： 生鮮魚介， コンパクトディスク など

3 改定結果

(1) 新旧基準の前年同月比を比較可能な平成18年1月以降で見ると、新基準のほうが生鮮食品を除く総合指数（広島市）で平均0.5ポイント低くなっている。

(2) 低くなっている理由としては、ウエイトが増加しかつ価格低下の著しい移動電話通信料や基準改定で追加された薄型テレビなどの価格低下が大きいことによる。

表1 17 基準改定品目

10大費目	追加品目	整理統合品目
食料	カレーパン, ひじき, 中華合わせ調味料, 弁当(すし), 調理パスタ, 冷凍調理ハンバーグ, チューハイ, すし(回転ずし), 焼肉, ドーナツ	指定標準米, 牛肉(肩肉), 果物缶詰(もも), 緑茶(番茶), 清酒A, 清酒B, ビール(輸入品), ウイスキー(輸入品), ウイスキーA, ウイスキーC, のり巻き
住居	システムキッチン, 錠	
家具・家事用品	ポリ袋, キッチンペーパー	ガス湯沸器, ミシン, 電気ごたつ, 洋服だんす, 座卓, 上敷ござ, なべ(輸入品)
被服及び履物		婦人スーツ(合物), 婦人スーツ(ニット), ワンピース(冬物), スカート(合物), 子供セーター, 男子シャツ(長袖), 男子ズボン下, 婦人服地, 背広服地, 毛糸, ネクタイ(輸入品), 男子靴下(冬物), 子供タイツ, 仕立代
保健医療	鼻炎薬, サプリメント	口中剤
交通・通信	自動車バッテリー, カーナビゲーション, 携帯電話機	ガソリン(プレミアム), 自動車整備費(マフラー交換)
教育	専門学校授業料, 補習教育(小学校), 補習教育(高校・予備校)	
教養娯楽	テレビ(薄型), DVDレコーダー, 録画用DVD, DVDソフト, プリンタ用インク, 月謝(ダンス), 放送受信料(ケーブル), フィットネスクラブ使用料	ビデオテープレコーダー, ワープロ, 電子オルガン, 鉛筆, テニスラケット(輸入品), ビデオテープ, 月謝(洋裁), マージャン遊技料
諸雑費	温泉・銭湯入浴料, エステティック料金, ボディーソープ, 傷害保険料	入浴料(大人), 入浴料(中人), 入浴料(小人), 電気かみそり(輸入品), 腕時計(輸入品)
計	34	48

表2 主要な品目等に係るウェイトの比較

	基準年	携帯電話 通信料	保育所 保育料	診療代	生鮮魚介	コンパクト ディスク
広島市	H17	229	63	201	157	16
	H12	79	51	156	170	21
福山市	H17	219	54	274	167	8
	H12	74	32	154	204	19
三次市	H17	202	52	212	151	20
	H12	99	25	142	215	40